

別記様式第1号の2の2（第3条の2，第51条の9関係）

① 防火
防災 管理者選任（解任）届出書

③ 福岡市 消防署長 殿		② 年 月 日			
		届出者 ④			
		住所 _____			
		(法人の場合は、名称及び代表者氏名)			
		氏名 _____			
⑤ 下記のとおり、防火 防災 管理者を選任（解任）したので届け出ます。					
記					
防火 対象 物 又は 建築物 その他の 工作物	所在地	⑥			
	名称	⑦ 電話 ()			
	用途	⑧	令別表第1 ()項	収容人員 ⑨	
	種別	<input type="checkbox"/> 甲種 <input type="checkbox"/> 乙種⑩	管理権原	<input type="checkbox"/> 単一権原 <input type="checkbox"/> 複数権原⑪	
	区分	名	称	用途 収容人員	
	※令第2条を適用するもの	⑫			
	※令第3条第3項を適用するもの	⑬			
⑭ 防火・ 防災 管理者	選	フリガナ 氏名・生年月日	⑮ 年 月 日生		
		住所	⑯		
		選任年月日	⑰ 年 月 日		
		職務上の地位	⑱		
	資 格	種別⑲	<input type="checkbox"/> 甲種(□新規講習 □再講習)□乙種	<input type="checkbox"/> 防災管理(□新規講習 □再講習)	
		講習機関	⑳		
		修了年月日	㉑ 年 月 日	年 月 日	
	解 任	その他 ㉒	令第3条第1項第 号 ()	令第47条第1項第 号 ()	
			規則第2条第 号 ()	規則第51条の5第 号 ()	
	氏名	㉓			
解任年月日	㉔ 年 月 日				
解任理由	㉕				
その他必要事項	㉖				
※※受付欄	※※経過欄				

- 備考 1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 2 「防火
防災」の横書きの文字については、該当しない文字を横線で消すこと。
- 3 ※印の欄は、消防法施行令第2条を適用するものにあつては同一敷地内にある同令第1条の2の防火対象物ごとに、同令第3条第3項を適用するものにあつては管理権原に属する部分ごとに記入すること。
- 4 消防法施行令第1条の2第3項第2号及び第3号の防火対象物にあつてはその他必要な事項の欄に工事が完了した際の防火対象物の規模を記入すること。
- 5 消防法施行令第3条第2項又は同令第47条括弧書を適用するものにあつてはその他必要な事項の欄に管理的又は監督的な地位にある者のいずれもが防火及び防災管理上必要な業務を適切に遂行することができない理由を記入すること。
- 6 □印のある欄については、該当の□印にレを付けること。
- 7 ※※印の欄は、記入しないこと。

防火・防災管理者選任（解任）届出書 記入要領

項 目	記 入 内 容		
① 表 題	防災の文字を=で抹消します。		
② 年 月 日	届出書の提出年月日を記入します。		
③ あ て 先	当該防火対象物を所轄する消防署の長あてとします。		
④ 届 出 者	1 当該事業所の管理について権原を有する者の住所・氏名を記入します（ただし、法人の場合は法人の住所・名称及び代表者の職・氏名を記入します）。 2 個人企業の場合は、住民登録してある住所とします。		
⑤ —「選任（解任）」—	防災の文字を=で抹消し、「選任（解任）」のうち、不要の文字を=で抹消します。		
防火対象物又は建築物その他の工作物	⑥ 所 在 地	当該防火対象物の所在地を記入します。	
	⑦ 名 称	「〇〇株式会社〇〇工場」、「〇〇銀行〇〇支店」又は「〇〇ビル」等当該防火対象物の名称及び電話番号を記入します。	
	⑧ 用 途	当該防火対象物の用途を消防法施行令別表第1に掲げる用途区分及び項区分により「工場・□項イ」、「事務所・⑮項」、「複合用途・⑯項イ」の要領で記入します。	
	⑨ 収 容 人 員	消防法施行規則第1条の3の算定基準により算定した当該防火対象物全体の収容人員を記入します。	
	⑩ 種 別	消防法施行令第3条の防火対象物の区分に応じ、該当する□にレ点でチェックを入れます。	
	⑪ 管 理 権 原	当該防火対象物について管理権原が分かれていない場合は「単一権原」の□に、分かれる場合は「複数権原」の□にレ点でチェックを入れます。	
	⑫ ※令第2条を適用するもの	1 同一敷地内に同一管理権原の2以上の建物がある場合、各棟ごとの名称、用途及び収容人員を記入します。 2 棟が多くこの欄に書ききれないときは適宜用紙を添付して記入します。	
⑬ ※令第3条第3項を適用するもの	1 複数権原の防火対象物にあっては、届出者の管理する事業所の名称・用途及び収容人員を記入します。 2 事業所が複数になる場合は事業所ごとに記入し、書ききれないときは用紙を添付します。		
防火・防災管理者	選	⑭ 防火・防災管理者	防災の文字を=で抹消します。
		⑮ 氏名・生年月日	防火管理者となる者の氏名と生年月日を記入します。
		⑯ 住 所	防火管理者となる者の住所を記入します。
		⑰ 選任年月日	管理権原者から当該防火対象物の防火管理者として指名選任された年月日（又は届出月日）とします。
		⑱ 職務上の地位	防火管理者として選任されたときの組織上の地位を記入します。 （例）「総務部長」、「店長」、「支店長」等
		⑲ 種 別	受講した防火管理講習の種別に該当する□にレ点でチェックを入れます。
		⑳ 講習機関	防火管理講習を受けた機関名を記入します。 （例）「福岡市消防局」、「東京消防庁」、「〇〇消防本部」等
	㉑ 講習修了年月日	講習を受け修了証に記載されている年月日を記入します。	
	解 任	㉒ そ の 他	講習修了以外の資格で選任する場合の根拠法条及び資格内容を記入します。 （例）消防法施行規則第2条第1項第1号（安全管理者）
		㉓ 氏 名	前任の防火管理者氏名を記入します。
㉔ 解任年月日		管理権原者から当該防火対象物の防火管理者として解任された年月日（又は届出年月日）とします。	
㉕ 解任理由	「転勤」、「退職」など具体的に記入します。		
㉖ その他必要事項	新たに防火管理者が必要となった理由等を簡記します。 （例）「新築、増改築、従業員の増加、収容人員の増加」等		